2024年度入試 学校説明会日程		
第１回	第２回	第３回
5/13(土) 11:00～12:00	6/10(土) 11:00～12:00	8/25(金) 19:00～20:00
第４回	第５回	第６回
9/6(水) 11:00～12:00	12/8(金) 19:00～20:00	1/13(土) 11:00～12:00

オープンキャンパス	
第１回	第２回
6/24(土) 10:00～12:30	11/4(土) 10:00～12:30
入試説明会（６年生対象）	
第１回	第２回
10/14(土) 11:00～12:00	12/2(土) 11:00～12:00
入試問題体験会（６年生対象）	
12/16(土) 8:30～11:00	
文化祭	
9/16(土)・17(日) 9:00～16:00	

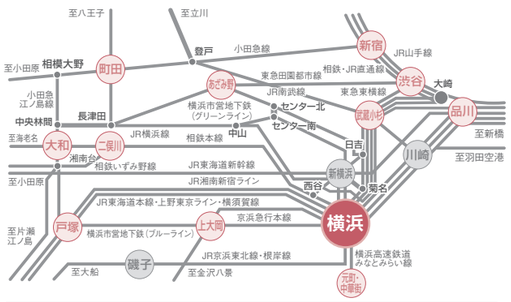
入学試験日程と試験科目					
帰国生		A日程		B日程	C日程
12/13(水)		2/1(木)		2/2(金)	2/4(日)
若干名		午前	80名募集	60名	20名
		午後	30名募集		
必修科目	②	午前	①	③	①
選択科目	英語または作文	午後	②		
面接試験	あり	面接試験はありません			

①：２科(国語・算数)、４科(国語・算数・社会・理科)の選択
②：２科(国語・算数)
③：２科(国語・算数)、３科(国語・算数・英語)、
４科(国語・算数・社会・理科)の選択

※本校の「学校説明会」「オープンキャンパス」「入試説明会」「入試問題体験会」は、すべて事前予約制となります。
参加ご希望の方はお手数をお掛けいたしますが、本校ホームページよりお申込みください。
※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、一部当初予定から変更しました。今後も上記予定を変更する場合があります。
最新情報は本校ホームページをご確認ください。

神奈川学園 検索

主要各駅から横浜駅までの所要時間



- ●上大岡駅から10分　京浜急行本線利用
- ●戸塚駅から13分　JR東海道本線 JR湘南新宿ライン利用
- ●二俣川駅から15分　相鉄本線特急利用
- ●あざみ野駅から28分　横浜市営地下鉄利用
- ●武蔵小杉駅から13分　JR横浜貿線 東急東横線特急利用
- ●品川駅から17分　JR東海道本線 JR上野東京ライン利用
- ●大和駅から22分　相鉄本線特急利用
- ●渋谷駅から31分　東急東横線特急利用
- ●元町・中華街駅から8分　横浜高速鉄道みなとみらい線利用
- ●新宿駅から30分　JR湘南新宿ライン利用
- ●町田駅から37分　JR横浜線利用

※所要時間は日中平常時のもので、時間帯によって多少異なります。
※待ち時間・乗り換え時間等は含まれていません。

周辺案内図

本校の最新情報やアクセスなどの詳しい情報は、右記QRコードから本校ホームページをご確認ください。

神奈川学園中学・高等学校

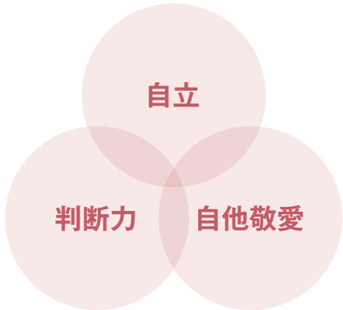
〒221-0844　横浜市神奈川区沢渡18　TEL.045-311-2961(代)　FAX.045-311-2474
https://www.kanagawa-kgs.ac.jp　E-mail:kanagawa@kanagawa-kgs.ac.jp

INDEX

P.1 神奈川学園が育てる人間像
P.3 神奈川学園の６年一貫カリキュラム
P.13 神奈川学園の進学状況
P.15 Kanagawaプロジェクト
P.17 部活動
P.19 年間行事
P.21 各種データ
P.23 2024年度入試 生徒募集要項
P.25 2023年度入試データ

神奈川学園が育てる人間像

神奈川学園が育てるのは「判断力」をもった、「自立」した女性です。
そして、その力を自分はもとより他者や社会のために使うことのできる、「自他敬愛」の心性をもった人です。
そうした一人ひとりを育てる仕組みが、神奈川学園にはあります。



◎６年間の取り組み

		中１	中２	中３	高１		高２	高３
自他敬愛	Kanagawa プロジェクト							
	平和・人権	１日研修（第五福竜丸展示館等）			国内FW ●沖縄 ●水俣 ●四万十川 ●岩手・宮城 ●奈良・京都		探究 ゼミ形式学習 外部調査、実験等 レポート作成 成果発表会 カナダ研修（希望制）	進路開拓
	環境		小網代の森研修					
	多文化共生	TGG研修	GVS研修	海外研修（AUS） 横浜探検 ホームステイシミュレーション	校内英語研修 ターム留学（希望制）			
判断力	各期の概要	基礎の定着		基礎の完成			応用力の育成	
		クラス中心の授業		習熟度別授業本格導入			週20時間以上の大幅選択制	
	英語の特徴	KGラウンドシステム、習熟度別授業（３単位）、クラス３分割英会話			全科目習熟度別授業		ハイレベルスピーキング	週８単位まで履修可能
	カリキュラムの特徴	理科100実験（中学３年間）	数学習熟度別授業開始	国語「古典」（３単位）	古典習熟度別授業		選択制（21時間39講座）	プラスαの土曜講座
	その他の特徴	ICTの利用、放課後補習、夏期講習、生徒アンケート（生徒の声を反映した授業）						
自立	各期の取り組み	２人担任制			進路指導			
		PA研修／日常の面談	エンカウンター／日常の面談		文理選択面談		進路確定への面談	受験指導・サポート
		Diary ／学習計画の指導						
	学習支援体制	放課後学習支援（アクティブ自習室）			放課後学習支援自習室（20時まで）			
		放課後学習法・進路等学習会（高３まで）			進路講演会		学習合宿	個別指導（必要に応じて）
	自治活動	自分たちで作る学校生活・行事（文化祭・音楽会等）、生徒会活動（校則の見直し等）、部活動						
	その他の特徴	保護者との連携（各種通信、PTA活動）、安全・安心の取り組み（校門警備、カウンセラーの常駐など）						

自立

自立の土台には、自己肯定の気持ちが必要です。そのために本校では中学２人担任制を採用し、一人ひとりの成長を細やかに見守り、自立へと導きます。103名の教員のうち70名が専任という高い専任率を誇るからこそ可能な制度です。

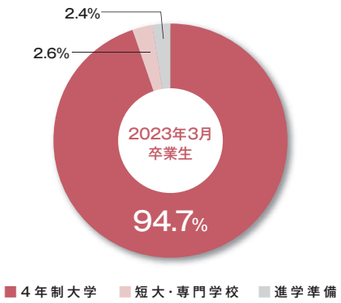
判断力

「判断力」の土台となるのは、教科学習です。本校では、中学の英語でKGラウンドシステムを実践したり、理科100実験を行ったり、高校では大幅選択制を導入するなど、個と新しい時代に即した学力を育てています。

自他敬愛

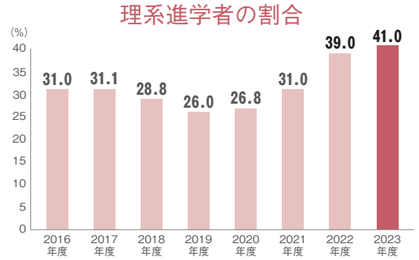
自分と他者を大切に思う気持ちは、さまざまな人との交流や社会と出会う中で育つものだと本校は考えています。その根幹をなす６年間の“Kanagawaプロジェクト”を通して、豊かな経験を重ねていきます。

卒業生の進路状況



22年度（23年3月）卒業生卒業生の4年制大学進学率は94.7%でした。過去10年9割前後で推移していますが、その中でも高い数値です。理系進学者は昨年の39%をさらに上回り、41%に達しました（看護等文理系含む）。GMARCH以上の難関校合格者は90名に上りました。難関校への挑戦も着実に進んでいます。

理系進学者の割合



✓ 中学２人担任制

本校では中学校で２人担任制を採用しています。最も大きく成長するとともに揺れ動く時期でもある中学段階に一人ひとりをていねいに見ていきます。毎日やりとりをするDiaryや数多くの面談などを通して、担任は生徒一人ひとり、そしてクラス全体の状況を把握していきます。「女子校は人間関係が複雑ではありませんか」という質問をいただくこともありますが、上記のような取り組みを通して一人ひとりを複眼で把握し、もしトラブルが生じた場合もそれが大きくなる前に対処することが可能になっています。

神奈川学園の６年一貫カリキュラム

本校は、週６日制35時間のオリジナルカリキュラムを実施しています。
生徒の全人的な成長をめざし、すべての科目で文部科学省の標準時数以上の授業時間を確保しています。

◎中学３年間のカリキュラム

	中学１年	中学２年	中学３年
1	国語	国語	国語
2			
3			
4			古典
5			
6	社会	社会	
7			社会
8			
9			
10	数学	数学	
11			
12			数学
13			
14			
15	理科	理科	
16			
17			理科
18	音楽		
19		音楽	
20	美術		
21		美術	音楽
22	保健体育	保健体育	美術
23			
24			保健体育
25	技術・家庭	技術・家庭	
26			技術・家庭
27	英語	英語	
28			
29			英語
30			
31			
32			
33	英会話	英会話	英会話
34	道徳	道徳	道徳
35	HR	HR	HR

※総合は国際理解教育／英会話等で実施。

◎高校３年間のカリキュラム

	高校１年	高校２年 文系	高校２年 理系
1	現代の国語	英語コミュニケーション	
2			
3			
4	言語文化		
5		論理・表現Ⅱ・Ⅲ	
6			
7	歴史総合＊1		
8	地理総合＊1	情報Ⅰ	
9	公共		
10		体育	
11	数学Ⅰ＊1		
12		保健	
13	数学Ⅱ	日本史探究 世界史探究 地理探究 政治・経済	物理 化学 生物
14			
15	数学Ａ		
16	物理基礎＊1		
17	化学基礎		
18			
19	生物基礎	古典探究	数学Ⅱ
20			
21	体育		
22	保健＊2	国語特講１ 数学ⅡＣ	理系国語
23			
24	家庭総合	論理国語	数学ＢＣ
25			
26	英語コミュニケーション		
27			
28		文系選択群	理系選択群
29			
30	論理・表現Ⅰ・Ⅱ	英語特講１ 数学Ｂ	英語特講１ 化学
31			
32		社会科群	数ⅠＡ特講 化学
33	総合	総合	
34	HR	HR	
35	選択芸術		

＊1：中学で一部先取り履修
＊2：集中講座

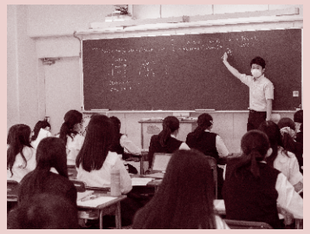
	高校３年 文系	高校３年 理系
1	英語コミュニケーション	
2		
3		
4	英語応用	
5		
6	体育	
7		
8		
9	日本史研究 世界史研究 政治・経済研究 等	化学研究 生物特講 物理特講
10		
11		
12		
13	日本史特講 世界史特講 芸術科目 等	物理研究 生物研究 化学特講
14		
15		
16		
17	古典研究 現代文研究	数学特講 数学ⅠＡ 数学ⅡＢ 数学Ⅲ
18		
19		
20		
21	国語特講３	英語特講２ 数学Ⅲ
22		
23		
24	英語特講３ 現代文特講	数学ⅠＡ特講４ 数学Ⅲ特講
25		
26		
27	文系選択群・文理選択群・理系選択群	
28		
29	総合	
30	HR	
31	土曜講座	
32		
33		
34		

◎カリキュラムは中高とも2023年度

＋

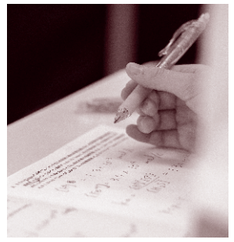
◎カリキュラムの特徴と土曜講座

本校のカリキュラムは、週6日制35時間で編成されています。標準時間数より多く、高校1年生までに必修科目をほぼ学び終えます。高校2年生からは進路に応じた大幅選択制度を採用し、週35時間のうち21時間が選べるようになっています。また、高校3年生のみ、土曜日はそれぞれの受験の必要性から選択する「土曜講座」を設けています。



✓ 日々の勉強や通塾について

家庭学習は平均すると2時間必要です。「毎日2時間」というリズムに慣れるのには、多少「たいへん」かもしれませんが、宿題や予習にていねいに取り組むと、やはり毎日2時間は家庭学習が必要です。万一、授業に遅れた場合には放課後日常補習や長期休みの補習があります。このように学校の学習が充実しているので、とくに塾や予備校に通う必要はありません。



◎各種講座

授業の他に放課後、長期休みに各種の講座を実施しています。授業の理解がやや不十分な生徒のために「指名制講座」が設定され、さらに深い内容や受験に向けては「希望制講座」が設定されています。多様な講座で個々の希望に応じつつ学力を伸ばしていきます。

夏期講習（希望制講座／2022年度実施例）

①中学１年　②中学２年　③中学３年　④中学１年～高校１年　⑤高校１年　⑥高校２年　⑦高校３年

①	無言学習
	水泳
	数学発展問題講座
	無言学習
②	無言学習
	国語発展講座
	数学標準・発展問題講座
③	数学発展問題講座
	無言学習
④	英検４級対策講座
	英検３級対策講座
	英検準２級対策講座
④	英検２級対策講座
⑤	古文・漢文復習講座
	無言学習
	国語（現代文・古文）模試対策講座
⑥	長文読解演習講座（αクラス）
	長文読解演習講座（βクラス）
	物理問題演習講座
	ハイレベル古文講座
	国公立理系古典講座
	数学ⅡＢ
	英検２級ハイスコア取得対策講座
	共通テスト対策現代文講座
⑥	倫理・政治経済
	物理問題演習講座
	英文法実力養成講座
	物理問題演習講座
⑦	大学入試英語長文
	数学ⅠＡⅡＢ演習（主にⅡＢ、理工系学部向け）
	漢文演習
	日本史（文化史）
	世界史演習Ⅰ
	倫理政治経済（１・２群授業対応）
	入試に出る物理実験
	生物思考力問題演習
⑦	共通テスト倫政
	大学入試英語文法
	日本史（戦後史）
	数学Ⅱ入試基礎
	数学ⅠＡⅡＢ演習（3･5群で選択している人向け）
	現代文演習
	世界史演習Ⅱ
	古文演習
	日本史（近世史）
	生物実験
	物理入試問題演習
	理論化学実験
⑦	共通テスト現社
	有機化学実験

夏期講習（指名制講座）

①	国語
	英語
	数学
②	国語
	英語
	数学
	水泳
③	古典文法
	英語
	数学
⑤	数学

◎放課後学習支援

本校には無言学習をするための「サイレント自習室」と、質問をしながら学習のできる「アクティブ自習室」があります。中学生は19時まで、高校生は20時まで利用可能です。部活動を終えた18時以降に自習室で学習をする生徒も少なくありません。また、月1回、学習法や進路選択について、学習支援員といっしょに学び、考える「イベント・ウィーク」も実施。多角的に生徒の学びを支えています。

国語科

すべての教科の土台となる「ことば」の力を育てる国語。文章を読むことはもちろん、「話す・聞く・書く」取り組みで、総合的な力を育てます。

学習方針

生きた「ことば」を身につける

各教科の土台となる「ことば」の力をつけるために、文章を「読む」力はもちろん、グループ活動や先生との対話の中で「話す・聞く」力を、意見文や感想文など、自分の考えを相手に伝えるための「書く」力をつけていきます。特に中1・中2では週5時間の授業の中でさまざまな言語活動に取り組み、課題発見と解決につながる言語能力を育てていきます。また、「まとめノート」作成をていねいに行い、自学力もつけていきます。

古典の先取り学習

中1の「竹取物語」から、古文の学習が始まります。注や資料を充実させたオリジナルテキスト「中学古典」を使用し、古文の読解に取り組んでいきます。中2の後期からは古典文法の学習が始まり、中3では週3時間の「古典」の授業が設けられています。古典に親しみつつも、古語辞典を引きながら原文で古文を読むことを大切にしています。

充実した演習科目

現代文は中学段階から高校レベルの文章の精読に取り組み、古典文法の学習は高1で一通り終えています。そのため、高2から問題演習の授業に取り組んでいくことが可能になります。習熟度別の選択授業になっているため、一人ひとりの学力に応じて無理なく問題演習に取り組んでいます。大学入試に向けた実践的な力を、2年間かけてつけていきます。

学習内容

	中1（5時間）	中2（5時間）	中3（6時間）	高1（6時間）	高2（選択）	高3（選択）
	国語	国語	国語（3時間） 古典（3時間）	現代の国語（3時間） 言語文化（3時間）	論理国語（4単位） 古典探究（4単位） 国語特講（2単位） 理系国語（2単位）	現代文研究（4単位） 古典研究（4単位） 国語特講（3単位） など
現代文	中学国語 →		高校国語 →			
	漢字テスト（毎週） →					
古典	口語文法	古典文法(用言)	古典文法(助動詞)	古典文法(助詞) （敬語）		
		漢文訓読法 →				

社会科

私たちの生活している社会の構造を見抜き、より良い社会の在りようを模索する力を育てる社会。日本や世界を観る多角的な視点を育みます。

学習方針

社会をとらえる基礎力を育てる（中1・2）

最初の1年は、小学校では学べない、世界の歴史と地理の学習から、全員一緒にスタートです。みなさんの疑問や想像力を大切に、多様な資料を活用した授業を展開します。さらに「まとめノート」や「オリジナル資料集」を活用して、家庭学習の習慣を身につけていきます。2年間を通じて興味を広げ、時間と空間という社会を認識する基本を学びます。

世界で生きる力を育てる（中3・高1）

新聞の活用などを通じて、現代社会を多角的にとらえ、世界や日本との関わりの中で自分の生き方を見出す市民としての資質を磨きます。総合学習で取り組んでいる多文化共生学習や国内FWとも連携し、世界と日本の現状と将来について、自ら問いを立てて、探究的に考える体験を教科活動にも活かします。

進路を切り拓く力を育てる（高2・3）

大学入試で利用する自分の選択科目を中心に、しっかりと時間をかけて、深い学びを実現します。裁判の傍聴、歴史博物館の見学、地域巡検など、各科目への関心を広げる取り組みや、史料問題の演習、論述問題や各種大学入試問題の演習などを通じての実践力を磨く取り組みなど、授業を多様に展開していきます。

学習内容

中1（4時間）	中2（4時間）	中3（4時間）	高1（4時間）	高2（選択）	高3（選択）
社会をとらえる基礎力を育てる		世界で生きる力を育てる		進路を切り拓く力を育てる	
世界の歴史と地理を総合的に学ぶ	日本の歴史と地理を総合的に学ぶ	多文化共生を軸に市民的資質を育成する	日本社会の現状と将来を考え、市民的資質を磨く	専門科目の基礎を学ぶ	応用力をつける
中学地理分野・歴史分野	中学歴史分野・地理分野	中学公民分野・地理分野	公共2単位 歴史総合1単位 地理総合1単位 （歴史総合、地理総合各1単位は中学で履修）	世界史探究 日本史探究 地理探究 政治・経済 地理総合研究 公共研究	世界史研究 日本史研究 地理研究 政治・経済研究 日本史特講 世界史特講 地理特講 政治・経済特講 など

数学科

論理的思考力を育む数学科。中学3年生の段階で高校の内容も学び始めるなど、
無理のない先取り学習も実現しています。

学習方針

数学科の目標

数学科では6年間の授業の中で課題の構造を的確に捉える力、与えられた条件から問題解決に向けての筋道を立てる力、論理的に考え表現する力の育成をめざします。中学では、オリジナルテキストの利用により本質的な理解を促すとともに、無理のない先取りを可能にしています。高校では、数学の概念の体系的な理解をめざします。高校2年からの進路別授業では、採点者に伝わる答案を作成するための記述力も磨きます。

主体的・対話的で深い学びの実現

数学の授業では、一方的に講義を行うだけでなく、数学実験を取り入れるなど生徒が主体的になる導入や発展の工夫をしています。また、学び合いや教え合いの活動を取り入れ、数学的コミュニケーション能力の育成を行っています。授業では電子黒板を活用し、授業を効率よく展開したり、関数や図形を視覚化したりすることで理解を深めています。

社会で通用する数学力の育成

数学力の育成という視点で、中学2年からは習熟度別の授業を展開しています。βクラスでは基礎基本の徹底的な定着をめざします。αクラスでは基礎基本の定着に加え、応用力・思考力の習得までをめざします。また、自分の数学の力を試す機会として、数学検定の団体受検（希望制）を採用しています。これらにより、文系理系にとらわれず、「わかる楽しさ」や「数学的な発想力や思考力」を伸ばし、社会で通用する数学力の育成をめざしています。

学習内容

中1（5時間）	中2（5時間）	中3（5時間）	高1（5時間）	高2（選択）	高3（選択）
全員必修				選択科目	
体験型の活動で、数学を楽しむ		他者に伝える活動で、深く学ぶ		答案作成力を鍛え、記述力を高める	
正負の数 文字式 １次方程式 連立方程式 比例・反比例 不等式 平面図形 空間図形 資料の活用	式の計算 平方根 ２次方程式 関数 図形の性質と合同 三角形と四角形 相似 円	三平方の定理 標本調査 **数学Ⅰ** 数と式 ２次関数 図形と計量	**数学Ⅰ** データの分析 **数学A** 場合の数と確率 図形の性質 数学と人間の活動 **数学Ⅱ** 式と証明 複素数と方程式 図形と方程式 三角関数	**理系（新課程）** **数学Ⅱ** 指数関数と対数関数 微分法・積分法 **数学B** 数列、統計的な推測 **数学Ⅲ** 極限 微分法 微分法の応用 **数学C** ベクトル （平面上の曲線と複素数平面は高3で学習予定）	**数学Ⅲ** 積分法 積分法の応用 大学入試問題演習

※理系は高3の１学期中に、数学Ⅲのすべての範囲を終了します。

理　科

自然の仕組みや法則を理解する力をつける理科の授業。
中学時代は徹底して「実験・観察」にこだわる「理科100実験」も本校の特色です。

学習方針

充実した実験・観察

理科では、自然と親しむことと、身近なものに興味関心を持つことを大切にしています。そのため、中学では3年間で100種類以上の実験・観察を行います。また環境学習においては、小網代の森研修（中学2年）やFW四万十川・水俣（高校1年）などの行事とも連携しながら、自分の身近な問題として考えられるようなカリキュラムを実施しています。

レポート指導で科学的思考力を磨く

実験・観察の後には、レポートを作成し、教員が添削をします。実験・観察を行うと、必ずしも予想通りの結果が得られないこともあります。しかし、その原因を探り、試行錯誤をする中で新たな発見につなげることもできます。授業では優れたレポートを紹介したり、互いに評価をし合ったりすることで、科学的思考力を磨いていきます。

ていねいな専門教育

高校2年生からは自分の進路に応じて、標準時間数よりも時間をかけて学習しています。単なる受験演習にとどまることなく、専門的な実験・観察にも取り組むことで、中学3年間+高校1年間の必修科目で学習したことを土台に、さらに科学的思考力を磨き、新しい大学入試にも対応できるカリキュラムを整えています。

学習内容

中1（3時間）	中2（4時間）	中3（5時間）	高1（5時間）	高2（理系7～9時間）	高3（理系8～10時間）
自然や身近な現象に関心を持ち、多様な実験とレポートに取り組む		科学全般について幅広い知識と科学的思考力を身につける		専門的な実験・観察に取り組み、大学入試に向けた演習を行う	
中学生物分野 **中学物理分野**	**中学化学分野** **中学生物分野** **中学地学分野**	**理科Ⅰ分野**（週3時間） **中学物理分野** **中学化学分野** **高校物理基礎** **理科Ⅱ分野**（週2時間） **中学地学分野** **高校生物基礎**	**物理基礎** （1学期、週3時間） **化学基礎** （2~3学期、週3時間） **生物基礎** （通年、週2時間）	**私立理系** 物理・化学・生物から1科目選択 **国公立理系** 化学必修 物理か生物から選択 **演習授業** 物理基礎特講 化学基礎特講 生物基礎特講	**理系（私立・国公立）** 物理研究・物理特講 化学研究・化学特講 生物研究・生物特講 地学基礎 土曜講座物理 土曜講座化学基礎 土曜講座生物基礎

英語科

グローバル時代に不可欠な英語。授業はもちろん、研修などの行事も効果的に
組み合わせながら、力を伸ばします。検定試験にも積極的にチャレンジします。

学習方針

グローバル社会を生きる力をつける

さまざまなバックグラウンドを持つ人々が関わり合い、ともに生きるグローバル社会となった今、異文化への関心と理解を育て、自分とは違う文化や考え方も受け止めることが不可欠です。英語というツールは世界中の人との対話を可能にするグローバル社会へのパスポートとも言えます。さまざまな文化や考え方に触れて世界を知り、グローバルイシュー（地球規模の課題）について考えるきっかけとなる豊かな教材に多く触れ、自分の考えを持ち、それを英語で伝えられる力と積極性を育てていきます。

英語を「使って」身につける

中学では毎日英語に触れます。ネイティブだけでなく日本人教員も英語で指示などを行い、生徒たちは毎日多くの英語に触れます。教科書“Here We Go!”を使い1冊の教科書を何度もくり返す“ラウンドシステム”を取り入れています。英語の表現やルールを体系的に学ぶとともに、発話やコミュニケーションを伴う活動を多く取り入れて、頭の中だけの知識にとどまらず、習った表現を体をくぐらせ、使いこなせるようにしていきます。同時に毎日出される宿題が授業とともに自学のペースメーカーとなり、きちんと取り組むことで、英語力が自然と身につくような仕組みになっています。

新しい大学入試に対応できる英語力をつける

多くの語彙や表現、英語のルールを学ぶとともに、4技能どの分野の英語スキルもバランスよく身につけます。英検を中心に、4技能型英語資格試験の受検をサポートして、高校卒業までには、大学応募資格として認められる級やCSEスコア取得をめざし、大学入試に対応できる英語力を身につけていきます。高校1年からの習熟度別授業に始まり、高校での必修授業と多くの選択授業で、生徒一人ひとりのレベルに合わせて力をつけていきます。中学卒業までに準2級に7割以上、高校卒業までには多くの生徒が英検2級以上に合格しています。

学習内容

中1（7時間）	中2（7時間）	中3（6時間）	高1（7時間）	高2（7時間＋選択）	高3（5時間＋選択）
Here We Go! 1 →	2 →	3 →	英語コミュニケーションⅠ（習熟度別）	英語コミュニケーションⅡ（習熟度別）	英語コミュニケーションⅢ（習熟度別）
英語研修（校外・全員）	英語研修（全員宿泊）	海外研修（AUS全員）	論理・表現Ⅰ・Ⅱ（習熟度別） 英語研修（校内・全員） NZターム留学（希望制）	論理・表現Ⅱ・Ⅲ（習熟度別） 英語特講（習熟度別） カナダ研修（希望制）	英語特講（文系）（習熟度別） 英語特講（理系）（習熟度別）
英会話（3分割レベル別）（ネイティブ） 英検4級取得 →	→ 英検3級取得 →	英会話（2分割）（ネイティブ） 英検準2級取得 →	英検2級取得 →	ハイレベルスピーキング（少人数・TT） より高得点を狙っての再受検 →	英検準1級・2級 → 取得をめざす

※24年度からは、中1で習熟度別授業がスタートします。

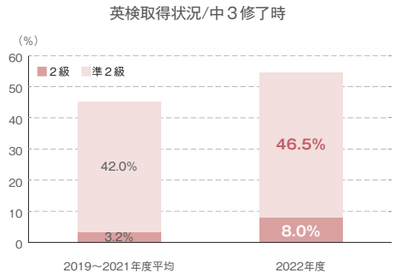
海外研修

中学3年・3月に、学年全員が参加する海外研修（オーストラリア）を実施しています。ホームステイを含むこの研修を一つの目標に、中学生は英語学習に励みます。事前にホームステイシミュレーションをしたり、オリジナルアルバムを作成するなど万全な準備をして、現地に向かいます。温かな歓迎を受けた経験は、高校での英語学習へのモチベーションとなっていきます。

ターム留学、カナダ研修（希望制）

中学3年生の海外研修の前後にも多様な研修を設けています。中学では国内でネイティブの先生と英語の力を磨く1年生と、2年生の校外研修（全員参加）があります。また、高校では、1年生の3学期で実施するニュージーランドターム留学（希望制）、2年生の夏休みに行われる希望制カナダ研修があり、多様な形で英語の力や国際感覚を磨く機会を設けています。

英検取得率



ラウンドシステムによって、英検への挑戦も進みました。ラウンドシステム1期生の2022年度中学3年生は、その前3年の平均より2級取得の割合が3.2%⇒8.0%と2倍以上に、2級と準2級を合わせた割合も45.2%⇒54.5%と約1.2倍になりました。
高校卒業時の英検は、準1級が6.8%、2級と合わせると60.8%（2020～2022年度平均）ですが、ラウンド1期生は2級合格80%をめざしています。

技術家庭科

自らの生き方を考え、社会の中で豊かに生きていける力を育む家庭科。
「生きる力」を多面的に育てる工夫にあふれたカリキュラムです。

学習方針と学習内容

創造

便利なモノがあふれ、お金さえ出せば何でも手に入る、そんな時代だからこそ心も体も“豊か”に生きるために、自分の手と頭と体を使ってものを作り出す力をつけること、創造する喜びを体験することが大切だと考えています。実習の時間は2人の教員がつき、友だちと協力したり、工夫したりしながら、いろいろなことができるようになっていきます。

共生

最寄り駅である横浜駅はさまざまな人が利用しています。自分の身近な家族や友だちという視点を社会に広げていくことで、さまざまな人が生きているということを意識できるのだと思います。社会福祉の学習では、高齢者福祉や障がい者福祉の現状を体験や講演会なども行いながら、学び、共に生きる社会・自分のできる一歩を考えていきます。

自立

精神的にも経済的にも自立することで、自由に自分らしく生きていくことができます。「生き方」は人それぞれですが、幸せに自立して生きていく将来像を共に描きたいと思います。そして、現実社会の実情を学び、誰もが暮らしやすい社会の仕組みを考え、周りの幸せも作り出せる大人になっていくための知識を身につけていきます。

中１（2時間）	中２（2時間）	中３（2時間）	高１（2時間）
【被服】 エプロン製作 （高１の調理実習まで使用します） 【環境】 身近なことから環境を考える （ゴミ・水・森林） 【木工】 小物入れ（間伐材） 【食物】 栄養素の働き 米・麦・野菜・塩分 （調理実習・実験６回）	【食物】 肉・魚・卵・豆について 食中毒・添加物 （調理実習５回） 【共に生きる】 障がい者福祉　高齢者福祉 車椅子・白杖体験　シニア体験 【被服】 マフラー又はネックウォーマー製作 （ガーター・メリヤス・ゴム編み・縄編み） 【家庭経済】 消費者問題・消費者の権利と責任	【食物】 危険なダイエット 不足しがちな栄養素 日本の食文化 （調理実習４回） 【被服】 健康と被服の科学 ギャザースカート又はハーフパンツ製作 【保育】 乳幼児の身体的特徴と成長 心の発達 子どもを取り巻く環境	【家族】 自分らしく生きる 家族に関わる法律 【保育】 子どもが健やかに育つ環境や権利 性と生殖に関わる健康と権利 保育園や幼稚園での「保育体験」 【食物】 食に関わる社会的な問題を考える レポート制作・発表 （調理実習３回） 【家庭経済】 ライフステージと経済計画 【「働く」ということ】 様々な働き方・社会保障制度・ 働く人を助ける法律 ワークライフバランス

保健体育科

心身ともに健康で豊かな生活を形成する力を育てる保健体育。
競技を楽しみながら力を伸ばしていくカリキュラムです。

学習方針と学習内容

好き・楽しい・面白い

ポジティブに「楽しもう」と思いトライすることでその面白さに気付けます。「面白い」と思えると、自ら工夫し全力で挑戦する意欲が芽生え、周囲の声に耳を傾けたり仲間の応援に素直に感謝の言葉が出たりします。そのような気持ちで活動する時間で自分自身をきっと「好き」になれます。前向き、積極的に取り組む『上達の秘訣』を大切にしています。

スポーツのある生活／生涯スポーツ

基礎体力の向上を図りながら、友だちと一緒に協力し声をかけ合い身体を動かすことの楽しさを感じたり、苦手課題を克服し、得意を見つけ伸ばすことを大切にしています。中学段階ではさまざまな種目に触れながら、徐々に専門的な技術や習熟を行いゲームや発表会を行います。スポーツを身近なものとして経験し、生涯にわたって運動･スポーツのある生活を大切にしたいと思います。

専門的な理論や体験の融合／進路開拓

「体育・保健」を基礎として、中・高各教科で総合的に学び知見を得てきたものを応用しながら『文化・科学としてのスポーツ』の理解を図ります。運動・スポーツの能力向上とともに、健康で豊かな生活を送れる人間性を育み、よりグローバルな視野を持って体育やスポーツをはじめとした幅広い進路選択の実現をめざします。

中１（3時間）	中２（3時間）	中３（3時間）	高１（3時間）	高２（3時間）	高３（3時間）
Stage Ⅰ：基礎期		Stage Ⅱ：充実期		Stage Ⅲ：発展期	
球技基礎	球技：バレーボール・バスケットボール・卓球・バドミントン ハンドボール・フットサル・硬式テニス				
水泳（着衣泳含）・武道：空手道					
器械運動：マット運動・跳び箱・平均台				スポーツ健康科学（選択）	フープ
陸上競技：走・跳・投・混成				※種目選択（６種目中３種目選択）	
リズムトレーニング	ダンス：コーディネーション・ヒップホップ・創作ダンス・発表会				ニュースポーツ
保健：スポーツ体育理論・性教育・応急処置・生涯を通じた健康 等					

芸術科

細やかで豊かな感性を育む芸術科。表現力はもちろん、想像力や多角的な
視点を育てることも視野に入れたカリキュラムです。

音楽科の学習方針と学習内容

歌唱による表現活動

楽曲を体で感じ、その中で何を表現していくかを考えていきます。外国の曲では国柄や国民性、表現の違いを学び、原語で歌えるようにしていきます。日本歌曲では、詩に込められた繊細な感性を感じ取れるよう、特に歌詞の理解に重点を置きます。より豊かに表現ができるよう、発声はもちろんのこと想像する力、詩や言葉に対する感性を育てていきます。

クラス合唱に取り組む中で培われる力

2学期末にクラス合唱の発表会である音楽会に取り組みます。各々の感性、自由な発想をクラスで意見交換し、共感を作っていきます。協調、協力して一つの作品をクラスでより良いものにするためにはさまざまな力が必要となっていきます。それは、今後社会の中で生きていく際に大切な生きる力につながります。自分一人では作ることのできないスケールの大きな作品への取り組みは、大きな達成感を得ることにつながります。

歴史とともに変化していく音楽の世界

中学3年間を通して、バロック時代から近現代までの鑑賞に取り組みます。歴史とともに音楽がどう変化していくのかということや、作曲家の生きた時代背景や人間性に触れ、作品から感じ取っていきます。また、箏と尺八の演奏者を招き、日本の伝統的な音楽にも触れます。鑑賞だけでなく、それぞれの楽器を実際に体験します。

	中１（2時間）	中２（1.5時間）	中３（1.5時間）
表現	浜辺の歌　赤とんぼ　花の街　2部合唱	夏の思い出　サンタルチア　野ばら	朧月夜　帰れソレントへ　早春賦
知識	音符　休符　強弱記号　階名唱	3部合唱	3部合唱・楽器体験
鑑賞	バロック時代 → 古典派 （ヴィヴァルディ･バッハ）（ベートーヴェン）	ロマン派（シューベルト） 総合芸術（オペラ・歌舞伎）	国民楽派（スメタナ）→ 近現代（ホルスト） 邦楽鑑賞会

美術科の学習方針と学習進度

観察力を養う

植物、動物、人物、静物など実物を時間をかけて繰り返し見ることを大切にします。色や形だけでなく、空間や構造をとらえるものの見方と姿勢を身につけることによって、自分を取り巻く世界に対して開かれた眼を持てるようになり、自分の内面を広げ豊かにしていくことができるようになると考えます。

想像力を養う

観察によって蓄えた事物を作り変えたりすることで実際には目の前にないものを描くことが可能になり、ありえない非現実的な場面も作り出すことができます。またそのような作品を鑑賞することで感性は刺激され、未知のものへの想像が広がります。柔軟な思考力や発想力の土台となる豊かな想像力を引き出す課題に取り組みます。

表現力を養う

作品を作るということは、自分を見つめながら整理し、受け手となる他者の視点を思い描く、つまりコミュニケーションの力を養うことと考えます。遠近法や立体表現などの絵画表現のテクニックや版画技法、水彩画法などの技法や様々な素材に触れる体験、習得と合わせて、表現することの可能性や豊かさを感じながらその力を育てます。

	中１（2時間）	中２（1.5時間）	中３（1時間）
１学期	静物着彩 陶芸	花の写生 友だちの姿（塑像）	私の主張（ポスター）
２学期	色彩構成 一版多色木版画	レタリング パッケージデザイン	私の好きな人・物・風景（木版画）
３学期	記念切手のデザイン	模写	デッサン

情報科

情報リテラシーとスキルを身につけることは、ICTが活用される情報社会にあって
不可欠な力です。情報科の授業では、こうした力を育みます。

学習方針と学習内容

情報社会の問題解決

私たちが生活する情報社会の理解を深め、社会が情報通信技術によって支えられていることを学びます。情報と情報通信技術を適切に活用して主体的に参画し、情報社会における問題解決に向けて行動できる力を身につけていきます。

情報リテラシーとスキルの習得

情報に関する知識の学習と実習を組み合わせ、総合的な情報リテラシーとスキルを身につけます。学習では理論や仕組みを学び、実習ではデジタル制作やシミュレーションなどのシステムを構築することで、総合的に活用できる力を身につけていきます。

情報デザイン、プログラミング、データ分析

情報デザインはデジタル制作を通して情報を効果的に伝える方法を身につけます。プログラミングはコンピュータの動く仕組みを学び、アイデアを具体化する手法や表現を身につけます。データ分析は現実社会のデータを活用し、適切に収集・整理・分析・発信ができるようにします。統計的な手法を用いて、科学的な見方を養い、仮説を検証する手法について学びます。

高２（2時間）	
学習分野	実習
情報社会の問題解決 コミュニケーションと情報デザイン コンピュータとプログラミング 情報通信ネットワークとデータの活用	【情報デザイン】【プログラミング】 Webサイト・ブログ制作（HTML+CSS+Python） Webサイト制作コンテストへの参加 【データ分析】 表計算ソフト実習 データビジネスコンテストへの参加

神奈川学園の進学状況

神奈川学園は、生徒一人ひとりの進路開拓を最大限応援します。
近年着実な結果を出している卒業生たちを支えているのは、先輩たちの健闘の結果と、
神奈川学園ならではの一人ひとりの進路開拓を実現に導くシステムです。

✔ 卒業生の約95%が現役で4年制大学へ

2015年に90%を超えて以来、毎年90%前後で推移している4年制大学への現役進学率は、2023年3月卒業生も94.7%に上りました。本校では「特別進学クラス」のようなクラスを設けず、日々の授業と講習などを通して全員の力を伸ばしています。

✔ 理系進学率

2023年の特徴の一つは、理系進学率が前年の39%からさらに伸び、41%となったことでした。本校は以前から理系進学者は30%前後で、「女子校としては高いですね」と言われていましたが、昨年同様医療系学部への進学者が増えたこともあって、いっそうの伸びとなりました。

✔ 難関校への挑戦

文系も含めた難関校への挑戦も進んでいます。国公立、早慶上理も合わせたGMARCH以上の合格数は90校でした。GMARCHに比較的少ない前述の理系合格は医学部、薬学部など難関も多く、着実にチャレンジが進んでいます。

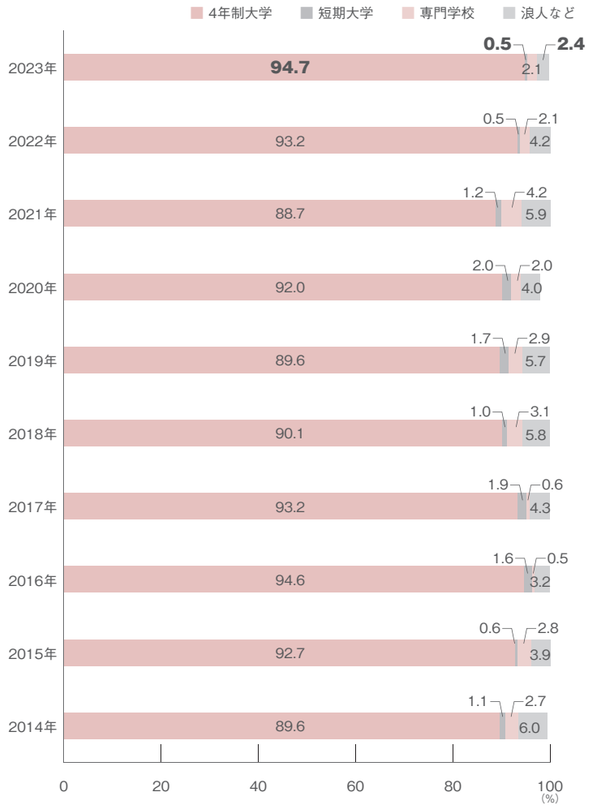
✔ 妥協しない意識作り

長く厳しい進路開拓を支え、夢を実現させる一つの原動力が教科学習だとすれば、もう一つの柱は明確な進路意識です。その気持ちを支えるのが、高1から本格化する進路指導。きめ細かな面談、進路講演会や懇談会、学習合宿などを通して一人ひとりの夢の実現をサポートします。

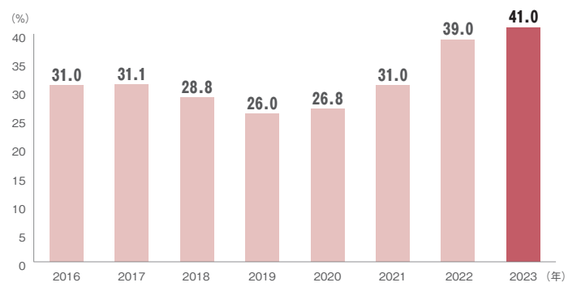
✔ 多様な進路を支える

現在、大学入試は一般型選抜を始め、学校推薦型（指定校・公募）、総合型と多様な形式があり、時期も長期にわたります。本校では一人ひとりが希望する入試の課題（小論文、面接、プレゼンなど）に対する力を、ときに個別指導も通しながら伸ばしていきます。なお、コロナ禍で中断していた放課後自習室（20時まで）は2022年度から再開し、今年度から中学生も利用できるようになりました（中学生は19時まで）。

過去10年進路結果（4年制大学への進学率）



理系進学者の割合



主な4年制大学への合格状況（2023年3月末時点）

（人）

大学名	2022年	2021年	2020年
東京農工大学		1	
宮城大学	1		
横浜市立大学			1
愛知医科大学	1		
青山学院大学	9	14	8
麻布大学	1	6	7
学習院大学	7	15	8
学習院女子大学	1	4	3
神奈川大学	21	15	10
関西学院大学	5	1	
北里大学	5	10	5
慶應義塾大学	2	2	2
國學院大學	8	6	8
国際医療福祉大学		3	1
国際基督教大学	1		
駒澤大学	11	2	3
芝浦工業大学		1	2
上智大学	8	4	4
昭和大学	3	4	9
昭和女子大学	30	25	8
昭和薬科大学	2	7	3
成蹊大学	2	3	2
聖路加国際大学	3		1
専修大学	11	9	9
中央大学	9	15	16
津田塾大学			1
東京女子医科大学	1		1
東京女子大学	7	11	4
東京薬科大学	4	2	3
東京理科大学	4	2	1
同志社大学	2		
東洋大学	18	9	3
日本大学	6	8	13
日本女子大学	8	13	9
法政大学	25	18	22
星薬科大学	1	5	2
明治大学	6	8	9
明治学院大学	19	11	15
明治薬科大学		1	1
立教大学	16	19	9
立命館大学	1	1	1
早稲田大学	2	2	1

2022年度入試主な指定校推薦

（人）

大学名	学部・学科	人数
青山学院大学	法学部法学科　等	4
麻布大学	生命・環境科学部環境科学科　等	4
大妻女子大学	社会情報学部社会情報学科環境情報学専攻　等	8
学習院大学	法学部法学科　等	4
学習院女子大学	国際文化交流学部英語コミュニケーション学科　等	2
神奈川大学	経済学部経済学科　等	8
神奈川歯科大学	歯学部	若干名
関西学院大学	法学部法律学科　等	1
北里大学	看護学部看護学科　等	2
杏林大学	総合政策学部総合政策学科　等	4
工学院大学	先進工学部応用化学科　等	8
芝浦工業大学	工学部機械工学科　等	3
上智大学	外国語学部英語学科　等	3
昭和女子大学	国際学部英語コミュニケーション学科　等	3
昭和大学	薬学部	1
昭和薬科大学	薬学部薬学科	1
成蹊大学	文学部　等	1
聖心女子大学	全学部全学科	1
清泉女子大学	文学部地球市民学科　等	2
玉川大学	文学部英語教育学科　等	22
中央大学	法学部国際企業関係法学科　等	2
東京女子大学	現代教養学部国際社会学科国際関係専攻　等	5
東京都市大学	建築都市デザイン学部建築学科　等	16
東京電機大学	理工学部理工学科理学系　等	5
東京農業大学	農学部農学科　等	9
東京薬科大学	薬学部　等	3
東邦大学	看護学部　等	2
東洋大学	国際学部国際地域学科　等	2
日本大学	法学部法律学科　等	2
法政大学	文学部史学科　等	3
明治学院大学	心理学部心理学科　等	5
立命館大学	理工学部物理科学科　等	1

現役進学者数の多い大学

（2022年度卒業生）

（人）

大学名	人数
青山学院大学	8
法政大学	8
昭和女子大学	7
明治学院大学	7
神奈川大学	6
立教大学	6
上智大学	4
大妻女子大学	4
中央大学	4
東邦大学	4
北里大学	4
学習院大学	3
昭和大学	3
湘南医療大学	3
帝京大学	3
東京工科大学	3
東京薬科大学	3
東洋大学	3
武蔵野大学	3
明治大学	3

本校の指定校は、東京・神奈川の大学だけでも約460名分で、学年在籍数の2倍以上になります。しかし、生徒たちは安易に推薦に頼るのではなく、自分自身の進路希望としっかり向き合いながら、本当に「第一志望」の場合に、推薦という方法を選び取っていきます。指定校推薦を利用する生徒は年によって若干のばらつきがありますが、例年20～40名程度です。

Kanagawa プロジェクト

広く社会や世界に目を向けるとともに、自分自身の生き方を考える取り組み “Kanagawa プロジェクト”。
社会で活躍する方に出会い、国際舞台に直接立つ豊かな経験にあふれたプログラムです。

人と出会い、社会と出会う

“Kanagawaプロジェクト”の軸は、「人と出会い、社会と出会う」こと。その一環として本校では多くの講演会も設けています。講演会で社会の第一線の方々と出会った経験は、生徒の視野を広げるとともに、生徒の中に「あんな大人になりたい」という「生き方のロールモデル」を育てることにもなります。

2022年度お会いした方(※一部オンライン含む)

全校	上野千鶴子さん（社会学者）
高校生	村木厚子さん（元厚生労働省事務次官）
	卒業生（進路講演会）
中3以上	藤川雄太先生（東京薬科大学）
中1	小森美登里さん（ジェントルハートプロジェクト）
	暉峻僚三さん（川崎市平和館館長）
	廣瀬由美さん（NPO情報セキュリティーフォーラム）
	市田真理さん（第五福竜丸展示館学芸員）
中2	石川紫穂さん（NPO小網代野外活動調整会議）
	遠藤まめたさん（一般社団法人にじーず）
	留学生の方々（GVS研修）
中3	オーミストンカレッジのみなさん（本校姉妹校）
	白尾悠さん（作家）
高1	アイリーン・美緒子・スミスさん（写真家・環境活動家）
	マーシャル諸島コープスクールのみなさん
	黒田一樹さん（環境省）
高2	表秀明さん（株式会社イノベーションデザイン）
	五十嵐洋志さん（株式会社 TVK コミュニケーションズ）
高3	崔善愛さん（ピアニスト）

	中学１年	中学２年		中学３年	高校１年	高校２年
平和・人権	１日研修（第五福竜丸展示館等） 「非平和」を考えるワークショップ				国内FW（３泊４日） ●沖縄 ●水俣 ●四万十川 ●岩手・宮城 ●奈良・京都	探究 ゼミ形式学習 外部調査、実験等 レポート作成 成果発表会 カナダ研修（希望制）
環境		小網代の森研修 流域レポート				
多文化共生	TGG研修 校内英語研修（希望制）	GVS研修 （２泊３日）		海外研修（AUS） 横浜探検 ホームステイシミュレーション	校内英語研修 ターム留学（希望制）	
その他	興味あるテーマを深める、ディベート大会			進路講演会		
	各種講演会					

▶ 探究／過去のテーマ例

- 脳死は人の死か
- プラゴミ問題は解決できるか
- 児童労働はなくせるか
- 子ども食堂は子どもの貧困問題解決につながるか
- 平和教育は必要か
- 観光公害は解決できるのか
- 殺処分をゼロにすることはできるのか
- 人間と野生生物のよい共存方法とは何か
- タケコプターは実現できるのか
- 日本が男女平等の国になるためには
- 宝塚歌劇団が若年層のファンを増やすためには
- 「普通」って何だろう
  水俣病の語り部・吉永理巳子さんの人生から考える

充実した行事

夢を見出す取り組みは“Kanagawaプロジェクト”だけではありません。例えば多文化共生は、６年間を通した取り組みでもあります。そのため、中１で希望制校内英語研修、中２で国内英語キャンプ（全員参加）、高１で校内英語研修、ターム留学（希望制）、高２でカナダ研修（希望制）などが準備されています。また、中１では友達との関係を深めるPA研修があったり、高２では学習に特化した「学習合宿」があるなど、多様な取り組みを行っています。

柱は「海外研修」と「国内ＦＷ（フィールドワーク）」

“Kanagawaプロジェクト”全体の中で大きな柱となっているのが中学3年生・全員参加の「海外研修」と高校1年生で日本の課題に向き合う「国内FW」。本校では、中高生活の中間である中学3年・高校1年を、とくに「自分の生き方を見定める時期」として位置づけています。その、「生き方を見定める」上で貴重な経験となるのが「海外研修」と「国内FW」。単なる旅行行事ではなく、時間をかけて準備を重ね、現地に向かいます。

中学３年「海外研修（AUS）」

中学3年生で実施する海外研修の大きなテーマの一つは「自立」。生徒たちは約1週間、昼は現地校に通い、放課後は1人でオーストラリアの家庭に入り、ホームステイを経験します。自分の家を離れ、異なる文化圏の家庭の中、英語で過ごす1週間は、生徒たちに大きな成長をもたらします。コロナ禍で中断していた海外研修でしたが、2022年度に再開し、コロナの影響で行けなかった学年の希望者も含め、計約400名がホームステイを経験してきました。

ＳＧＨネットワーク

本校の“Kanagawaプロジェクト”を始めとする国際教育は、文部科学省からも認められています。全国の国際教育に優れた学校で構成される「SGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）ネットワーク」の1校として本校は認定されており、生徒は毎年開催される「全国高校生フォーラム」にも参加しています。すべて英語でプレゼンテーションをし、質疑応答も行われるこの全国大会で、本校代表は毎年発表をし、英語でのやりとりで「鍛えられて」もいきます。

高校１年「国内FW」

国内FWは自らの興味関心から5方面に分かれて学び、現地に向かいます。「5方面」とは、戦争と平和について考える「沖縄」、人権と環境に向き合う「水俣」、自然との共生を学ぶ「四万十川」、日本文化の本質に触れる「奈良・京都」、震災からの復興とは何かを考える「岩手・宮城」です。事前学習をしたうえで現地に向かい、その後レポートを完成させます。生徒の生き方にも大きな影響を与えるこの行事は、コロナ禍においても流行の収まった時期を見計らい、継続実施してきました。

多様なプログラム

国内FWの各方面のテーマへは下級生の取り組みから出発しています。
例えば「平和」をテーマとする中1の取り組みは、国語教材で平和について学んだあと、水爆実験の被害を受けた第五福竜丸がある展示館の学芸員の市田真理さんに来校していただき、学習会をもちます。その上で、1日研修で展示館に向かい、生徒は平和のありようについて考えます。中2では「環境」をテーマに小網代の森に向かうなど、テーマ豊かに学んでいきます。

「探究」までの道のり

“Kanagawaプロジェクト”の一つの到達点は高校2年生で取り組む「探究」です。自分でテーマを決め、1年間かけて文献やアンケート、実験などを通して調査を進め、レポートやプレゼンにまとめあげます。この活動を通して、自らの進路意識をより明確に持つことができた卒業生も少なくありません。「探究」へ至る道筋として、中学1年・2年での自らの興味関心に基づいた調査・プレゼンや、高校1年での国内FWでの経験・調査をまとめあげたレポートの作成などの積み重ねが、高校2年生で結実します

高大連携協定

本校は2022年12月に東京薬科大学と高大連携協定を締結しました。この協定により、本校生が大学にうかがったり、大学の先生に本校に来校いただいたりすることを通して、大学の学びに触れていきます。すでに、2023年3月には同大学の藤川雄太先生に来校いただき、中学生・高校生希望者が大学の学びについてのレクチャーを受けました。次回は大学を訪問する予定で、大学という場や医療の学びの空気を実感する機会を広げていきます。

部活動

運動部

	団体名	活動日	部活から一言（例年の活動紹介）
①	器械体操	週３日	体育館にて、ゆか、跳馬、段違い平行棒、平均台など、さまざまな種目に取り組んでいます。初めて取り組む種目や初心者の人も、基礎からしっかり学べます。
②	新体操	週４日	文化祭では部員全員でテーマに合わせた舞台発表を行っています。普段の部活動では団体競技を中心に据え、一体感のある演技の完成と県大会入賞をめざしています。
③	水泳	週４日	夏の大会に向けて年間を通して練習に取り組んでいます。部員一人ひとりが４泳法習得、横浜市入賞、県大会出場、関東・全国大会出場をめざしてチームとして「元気・仲間・感動・成長」を感じながら切磋琢磨しています。
④	ソフトテニス	週４日	雨に強い人工芝のテニスコートで、メンバーで話し合って練習メニューを工夫しながら県大会出場をめざして毎日がんばっています！
⑤	ダンス	週４日	夏には中学・高校ともに大会に出場しているほか、文化祭や春公演に向けて自分たちで作品を作っています。自分たちも楽しめ、お客様にも楽しんでいただけるパフォーマンスをめざしています。
⑥	卓球	週４日	相手の動きを先読みしながらボールを打ち合い、一瞬の判断が勝敗を分けるスピード感あふれるスポーツです。今年度も県大会出場をめざして、部一丸となってがんばります。
⑦	バスケットボール	週４日	チームでプレーすることを通して、集団で協力することの大切さを学べるのがバスケ部の特徴です。県大会出場を目標に、全員が切磋琢磨しています。
⑧	バドミントン	週４日	中学生は基本的なショットを一つひとつしっかり打つこと、高校生はダブルス、シングルス共にラリーを制することを目標に、練習に励んでいます。
⑨	バトントワリング	週４日	中学・高校に分かれて大会に出場しています。高校生は昨年度全国大会出場を果たし、銀賞を受賞しました。練習は中高合同で行い、コミュニケーションを大切にしながらバトンの技術を磨いています
⑩	バレーボール	週４日	中学は県大会、高校は関東大会を目標にしています。一つのボールを皆で大切につなぐことで、一人の力は小さくても皆で大きな力にしています。最後まであきらめない粘り強さと、お互いを尊重する人間力を育てます。
⑪	陸上競技	週４日	陸上競技部は競技力向上を掲げ、より速く・より高く・より遠くに記録を向上させ、先輩たちが実現させてきたより上位の大会への出場を目指して日々ハードな練習に励んでいます。人数は少ないですが、だからこそ質の高い練習とは何か、どのようにお互いを支えあって記録を伸ばしていくのかを考え、小さなチャンスを見逃さない練習を心がけています。

同好会

	団体名	活動日	活動内容
①	漫画研究同好会	週２日	週２日、和気あいあいとした雰囲気の中で活動しています。２ヶ月に１回程度、部誌も発行しています。テーマに沿って、一人ひとりが自分の作品を作ります。

2022年度 運動部 主な活動実績

中学	水泳	全国中学校水泳競技大会　女子100ｍバタフライ出場
		ジュニアオリンピック春季大会　女子200ｍバタフライ出場
		ジュニアオリンピック夏季大会　女子100ｍバタフライ出場
		日本選手権　アーティスティックスイミング出場
		ジュニアオリンピック夏季大会　アーティスティックスイミングチームフィギュア競技出場
		神奈川県中学校水泳競技大会　女子100ｍバタフライ　３位
	ソフトテニス	神奈川県私立中学校ソフトテニス大会　女子個人の部　３位
	器械体操部	神奈川県私立中学校体操競技大会　跳馬　２位
		神奈川県私立中学校体操競技大会　段違い平行棒　５位
		神奈川県私立中学校体操競技大会　段違い平行棒　６位
	卓球部	神奈川県私立中学校新人卓球大会　１年女子　２位
		神奈川県私立中学校新人卓球大会　１年女子　５位
		神奈川県私立中学校新人卓球大会　２年女子　２位、３位
		神奈川県私立中学校新人卓球大会　３年女子　１位、２位、３位、５位
		神奈川県私立中学校卓球大会　３年女子個人　２位、５位
		神奈川県私立中学校卓球大会　２年女子個人　５位
	陸上競技部	神奈川県私立中学校陸上競技大会　女子100ｍハードル　４位、７位
		神奈川県私立中学校陸上競技大会　女子800ｍ　２位、３位、８位
		神奈川県私立中学校陸上競技大会　女子走高跳　１位、２位
		神奈川県私立中学校陸上競技大会　女子走幅跳　２位
		神奈川県私立中学校陸上競技大会　女子総合　４位
高校	バトントワリング	バトントワーリング全国大会出場　銀賞
		バトントワーリング関東大会　金賞
		ジャパンカップ　全国高等学校選抜大会　８位
	卓球部	神奈川県高校総体女子学校対抗　５位
		神奈川県ジュニアオープン卓球大会　Ｂランク予選リーグ　１位
		神奈川県ジュニアオープン卓球大会　Ｂランク優勝

2022年度 文化部 主な活動実績

中学	コーラス	神奈川県合唱コンクール　中学校部門同声合唱の部　金賞
		関東合唱コンクール　中学校部門同声合唱の部　銀賞
高校	箏曲	全国高等学校総合文化祭大会　出場　（21年度県大会４位）
		日本音楽発表会　県立私立高等学校協会理事長賞（来年度全国大会出場）
	コーラス	関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト　高等学校部門銀賞
		かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト　高等学校部門銀賞（関東大会出場）
		かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト　高等学校部門銀賞
	演劇部	高校生ドラマリーディング演劇祭　優秀賞
	書道部	神奈川県高等学校総合文化祭　高等学校書道展　特選
	生物部	神奈川県高等学校理科部研究発表大会　青少年センター館長賞

文化部

	団体名	活動日	部活から一言（例年の活動紹介）
①	ESS	週3日	ネイティブの先生をコーチに、前期は文化祭での英語劇上演に向け、台詞や演技の練習に励んでいます。その他、年間を通して英語でのクッキングや後期はハロウィン、クリスマスなど楽しく活動しています。
②	演劇	週3日	舞台で演じる役者だけでなく、照明や音響、大道具など、一人ひとりが自分に合った特技を伸ばしながら、全員で一つの舞台を作りあげることを大切にしています。
③	華道	週1日	正風流の先生にご指導いただいて、週１回お稽古に励んでいます。文化祭ではさまざまな花材に挑み、日ごろの成果を披露しています。
④	軽音楽	週1日以上	バンドごとに自分たちの好きな曲を選んで、演奏をしています。文化祭の公演を大きな目標に、夏合宿や学内発表会に取り組んでいます。
⑤	コーラス	週4日	女声合唱の美しい響きと豊かな表現をめざして活動しています。毎年コンクールやアンサンブルコンテストに出場し優秀な成績を修めているほか、文化祭や定期演奏会ではダンスやお芝居も取り入れた本格的なミュージカルにも取り組んでいます。
⑥	茶道	週2日	裏千家のお稽古をしています。茶道を通して、美しい立ち居振る舞いも身につきます。文化祭だけでなく年に数回は部内でもお茶会を行っています。
⑦	社会科	週2日	文化祭での展示発表に向けてテーマを決め、調べたり、展示品を作ったりする活動をしています。今年度は「和」をテーマに楽しく取り組んでいるところです。
⑧	写真	週2日	文化祭で展示発表を行い、楽しみながら活動し技術を磨いています。合宿や撮影会を行い、コンテストにも出場しています。
⑨	手芸	週1日	一人ひとりが好きなものを制作しています。外部から講師の先生に来ていただいて、学ぶこともあります。
⑩	書道	週２日	主に文化祭での団体パフォーマンスを中心に活動しています。他にも個人での書道検定や作品展の作品作りにも積極的に取り組んでいます。
⑪	吹奏楽	週4日	「吹いて奏でて楽しむ」を部訓とし、吹奏楽はもちろん、アンサンブルにも力を入れて日々活動しており、夏の吹奏楽コンクールへの出場、文化祭やオープンキャンパス等、学内外のさまざまな行事を経て、春には定期演奏会を開催しています。
⑫	生物	週3日	学校内や学校近くの沢渡中央公園にいる生物を研究テーマに活動しています。年数回は校外での研修も行います。
⑬	箏曲	週3日	定期演奏会や文化祭に向けて練習に励んでいます。高校生になると県大会に出場し、全国大会にも何年も連続で出場しています。
⑭	美術	週3日	絵画制作だけでなく、工作やデッサン、イラスト等、さまざまな創作活動を行っています。文化祭でも部としてテーマを決めて、展示空間を創ります。
⑮	フォークギター	週2日	年に３回校内のライブや私学フェスタなどで弾き語り、バンド演奏をしています。学年を超えて一つの音楽を作ることに力を入れています。
⑯	文芸	週1日	詩や物語を書いたり、文豪等について調べたりする活動をしています。詩のコンクールなどにも応募しており、受賞もしています。
⑰	理化	週2日	化学・物理の実験をメインに活動しています。毎年ちがうテーマで研究し、実験を通して科学の世界に触れることができます。
⑱	料理	週1日	ご飯、おかず類など、おいしく簡単にできる料理をスイーツを中心に、和・洋・中・エスニックなど、いろいろな料理に取り組みます。

✓ クラブ活動は盛んですか？

昨年は、バトントワリング部と水泳部が全国大会、コーラス部が関東大会に出場しました。入部は希望制で、入部率は、全校で概ね80%程度です。「平日は少なくとも2日は休み、土日もどちらかは休む」のが原則です。最終下校時刻は、年間を通して18時の約束を守りながら、がんばって取り組んでいます。

✓ 部の活動などはどこで見られますか？

いちばんのお勧めは、すべての文化部の活動成果をご覧いただける文化祭（9月実施）です。展示部活、公演部活ともに毎年ご来校いただいたお客様からとても高い評価をいただいています。この他、オープンキャンパスでも授業体験の後、部活動見学会を行う予定です。詳しくは本校ウェブサイトでご確認ください。

年間行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全校	●始業式 ●ガイダンス ●防災訓練	●創立記念日 ●生徒総会 ●中間考査	●球技大会	●期末考査 ●終業式 ●三者面談 ●夏期講習	●クラブ合宿期間 ●夏期講習	●始業式 ●課題テスト ●文化祭
中学	●入学式 ●始業式 ●ガイダンス ●学力推移調査（1～3年）	●PA研修（1年） ●小網代の森研修（2年） ●横浜探検（3年）				●学力推移調査（1～3年）
高校	●始業式 ●入学集会（1年） ●ガイダンス	●模試（3年）	●模試（3年） ●夢ナビ（1年）	●模試（1～3年）	●海外研修（2年、希望者） ●模試（3年）	●模試（3年）
PTA	●学級PTA、PTA総会		●公開授業、学級PTA			
卒業生	●花と実の会総会					

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全校	●中間考査	●授業公開日	●講演会 ●期末考査 ●終業式	●始業式 ●課題テスト	●中学入試 ●生徒総会	●期末考査 ●終業式
中学	●進学説明会（3年）	●国内英語研修（2年） ●1日研修（1年、3年） ●音楽会（1～3年）		●学力推移調査	●スピーチコンテスト	●海外研修（3年） ●卒業集会（3年）
高校	●選択履修説明会（1、2年） ●模試（3年）	●国内FW（1年） ●学習合宿（2年） ●模試（1、2年）		●特別授業（3年） ●ターム留学（1年／希望者）→	→	●卒業式
PTA	●学級PTA（中3～高2）				●学級PTA、PTA総会	
卒業生				●20歳を祝う会		

※2022年度は新型コロナウイルス感染対策のため、行事を一部変更しました。

□ PA研修（5月）

中学に入学して間もない5月の初めに、1日をかけて足柄の森で行われる研修。クラスメイトと協力して、「ミッション」に挑みます。一見簡単そうなミッションは、実は難題ぞろい。一緒にミッションを達成するために、相談したり試行錯誤する中で、友だちの新しい一面が見えてきます。

□ 球技大会（6月）

毎年6月に開催される球技大会は、生徒が中心になって運営する「三大行事」のうちの一つ。バスケットボール、バドミントン、卓球、ドッジボール（高校生はバレーボール）の4種目に分かれ、各種目の優勝と競技全体の結果で争う「総合優勝」をめざします。全競技終了後の生徒部活チームと先生チームとのエキシビションマッチも毎年盛り上がります。

□ 文化祭（9月）

生徒が運営する「三大行事」の一つで、コロナ禍以前は6,000～8,000人もの方が訪れていた本校最大の行事です（コロナ流行中は入場制限を設けるなどしました）。中でも特徴的なのはクラスごとに事前研究を重ねて教室を作り上げる「研究発表」。夏休みなどを利用して、大学や企業などの研究機関や専門家にお話を伺い、調査を重ねて展示教室を作ります。もちろん、喫茶や公演も本格的です。

□ 進学説明会・選択履修説明会（10月）

中学3年生、高校1・2年生に向けて、秋に行われるのが「進学説明会」と「選択履修説明会」。本校では、数多くの科目の中から一人ひとりが進路にもっともふさわしい選択ができるよう大幅選択制を採用していますが、最適な科目選択をするために生徒と保護者に向けて学校から説明をする会です。その後、生徒は担任と何度も面談を重ね、進路と科目を選び取っていきます。

□ 音楽会（11月）

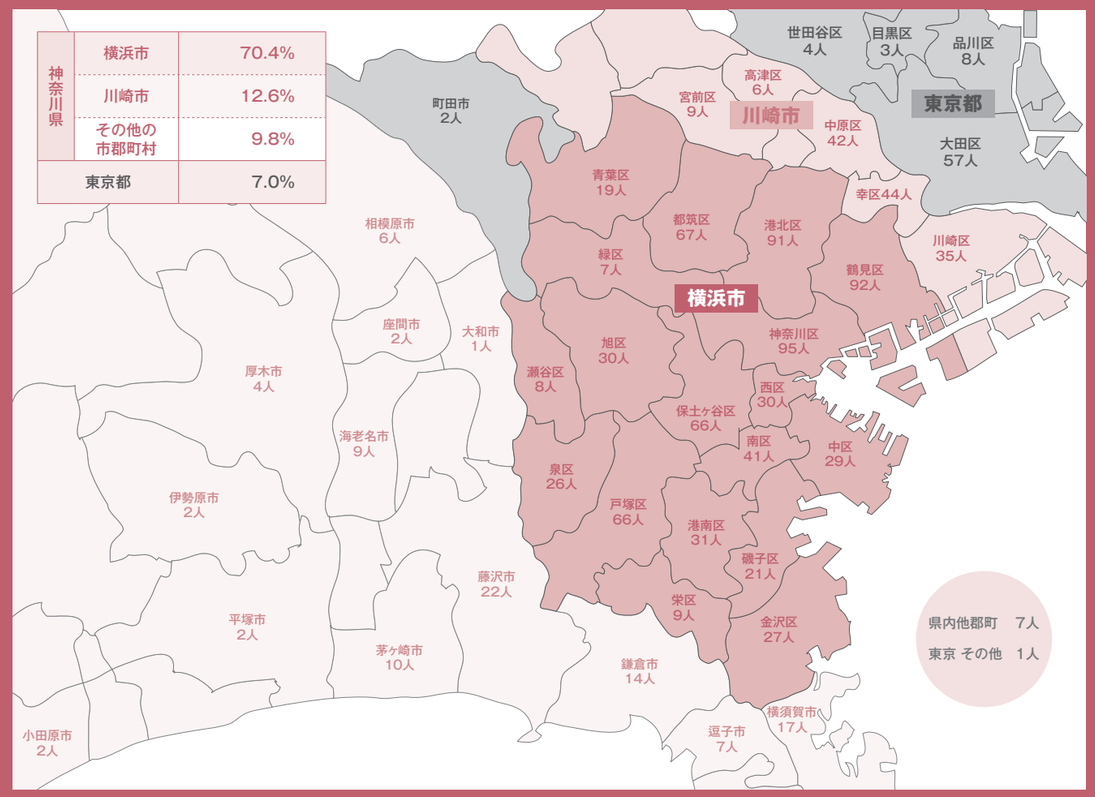
生徒が運営する「三大行事」の一つ。11月に、中学生15クラスがそれぞれのクラスで自分たちのクラスに合った曲を選び、合唱を作り上げていきます。歌詞の中身を掘り下げ、解釈を深めながら作り上げた美しいハーモニーが、当日の会場に響き渡ります。高校では、音楽選択者による「発表会」が同時期に行われます。コロナ禍で中断していましたが、2022年、再開しました。

□ 20歳を祝う会（1月）

成人の日に20歳を迎えた卒業生を本校に招き、同窓会も兼ねた「祝う会」を毎年開催しています。各地域の「成人式」を終えた卒業生たちが、集まり祝う会が開かれます。例年、当該学年の90%以上の卒業生が学校に戻ってきてくれます。振袖などで美しく着飾った卒業生たちの笑顔があふれ、カフェテリアとシュガーホールがいつになく華やぐ日です。

各種データ

■ 2023年度居住区別生徒数一覧（2023年5月1日現在）



■ 学費・諸費用一覧（2023年度実績／2024年度以降変動の可能性があります）

授業料など		学校指定用品など	
入学金	¥250,000	制服（冬用）	¥36,685
施設拡充費	¥150,000	オーバーコート	¥25,000*2
授業料（月額）	¥37,000	制服（夏用）	¥18,480
教育管理費（月額）	¥16,000	制服（冬用／高校）	¥50,600
生徒会入会費	¥1,000	制服（夏用／高校）	¥21,000
生徒会費	¥5,000	トレーニングシャツ	¥6,600
PTA入会金	¥15,000	トレーニングパンツ	¥5,400
PTA会費	¥21,600	半袖シャツ	¥2,900
学年費	¥90,000*1	ハーフパンツ	¥3,200
		体育館シューズ	¥4,600
		冬用カーディガン	¥6,500*2
		夏用カーディガン	¥6,300*2
		夏用ベスト	¥5,600*2

＊1：各種副教材、海外研修を除く旅行費、模試費用などを含む。
海外研修費用は別途¥300,000ほどの見込み。
寄付・学園債などは一切ございません。
＊2：印の品は必要に応じてご購入ください。

■ 在籍生徒数

	中1	中2	中3	小計	高1	高2	高3	小計
A	35名	33名	40名	545名（中学生）	35名	36名	35名	526名（高校生）
B	36名	33名	40名		35名	36名	34名	
C	36名	32名	40名		36名	35名	35名	
D	36名	34名	40名		35名	35名	34名	
E	36名	34名	40名		35名	35名	35名	
全校生徒数：1,071名								

■ 教員数

	男性	女性
専　任	32名	38名
講　師	2名	29名
外国人講師	2名	1名
小計	36名	68名
合計	104名	

■ 各教科の構成（専任、講師、外国人講師含む）

	国語科	社会科	数学科	理科	英語科	芸術科	保健体育科	技術家庭科	情報科	司書・養護	事務・用務
	16名	13名	13名	12名	21名	9名	8名	6名	1名	5名	9名
専任（男性）	3名	7名	8名	5名	3名	1名	3名		1名	1名	3名
専任（女性）	10名	3名	3名	5名	10名	1名	1名	4名		1名	5名
講師（男性）				1名	2名	1名(1)*					
講師（女性）	3名(1)*	3名	2名	1名	6名(3)*	6名	4名	2名		3名	1名

＊(　)内、専任と同等の勤務で教科指導に特化した常勤講師

■ 花と実の会（卒業生同窓会）

6年間をともに過ごした友だちとの間には強い絆が生まれます。卒業後もその絆をつなぐのは、同窓会組織「花と実の会」。創立者・佐藤善治郎が「花も実もある人生を」という想いから命名しました。毎年4月29日には「花と実の会総会」が行われ、前年度卒業生を始め、卒業30年目、50年目の卒業生も招待されます。記念ホールがいっぱいになるほどの盛会の中、昔話と近況報告に花が咲きます。また、1月の「成人の日」には「20歳を祝う会」が開催され、毎年90%以上の20歳になった卒業生が華やかな装いで母校に帰ってきます。

2023年「20歳を祝う会」

2017年「花と実の会」総会

萩谷 順さんによる講演会

2024年度入試 生徒募集要項

一般入試

日程	A日程		B日程	C日程
試験日	2月1日（木）		2月2日（金）	2月4日（日）
	午前	午後		
募集人数	80名	30名	60名	20名
試験科目	2科または4科の選択	2科	2科または、3科または、4科の選択	2科または4科の選択
	【2科】国語、算数　【3科】国語、算数、英語　【4科】国語、算数、社会、理科			
	国語・算数・英語（各50分・100点）　社会・理科（各30分・60点）　3科目型は点数の良かった2科目で判定します。			
集合時間	8：30	14：15／15：15	8：30	8：30

時程

2科		2科		2科		3科		4科		2科		4科	
集合	8：30	集合	14：15	集合	8：30	集合	8：30	集合	8：30	集合	8：30	集合	8：30
国語	8：50〜9：40	国語	14：30〜15：20	国語	8：50〜9：40	国語	8：50〜9：40	国語	8：50〜9：40	国語	8：50〜9：40	国語	8：50〜9：40
算数	10：00〜10：50	算数	15：40〜16：30	算数	10：00〜10：50	算数	10：00〜10：50	算数	10：00〜10：50	算数	10：00〜10：50	算数	10：00〜10：50
4科		2科				英語	11：10〜12：00	社会	11：10〜11：40			社会	11：10〜11：40
集合	8：30	集合	15：15					理科	12：00〜12：30			理科	12：00〜12：30
国語	8：50〜9：40	国語	15：40〜16：30										
算数	10：00〜10：50	算数	16：50〜17：40										
社会	11：10〜11：40												
理科	12：00〜12：30												

出願手続				
出願期間	1月7日（日）9：00〜 1月30日（火）23：59	1月7日（日）9：00〜 2月1日（木）23：59		1月7日（日）9：00〜 2月3日（土）23：59
出願方法	各日程ともインターネット出願 入学志願票・受験票は各日程A4（横）普通紙に印刷し、入学志願票に写真（縦4cm×横3cm）を貼付、 またはインターネット出願画面より写真アップロード機能を利用して写真を登録し試験当日にお持ちください。			
受験料	1回のみ出願：20,000円　複数回を出願の場合：2回目以降各回10,000円 お支払いは、コンビニエンスストア・ペイジー対応金融機関ATM・クレジットカードがご利用いただけます。 ※複数回出願して入学した場合、合格以降の未受験分の受験料は返却します。			
合格発表	2月1日（木）19：00〜 2月2日（金）8：00	2月1日（木）21：30〜 2月2日（金）8：00	2月2日（金）19：00〜 2月3日（土）8：00	2月4日（日）19：00〜 2月5日（月）8：00
	発表は、本校ホームページ（https://www.kanagawa-kgs.ac.jp/）で行います。 校内掲示は、2月2日（金）〜2月6日（火）9：00〜16：00			

入学手続

入学金納入 ⬇ 受付窓口での手続 ⬇ 入学手続完了

入学金は本校ホームページの入学金納入画面に進み、納入期限までにお支払いください。
入学金　250,000円　　納入期限　2月6日（火）16：00
入学金のお支払いは、コンビニエンスストア・ペイジー対応金融機関ATM・クレジットカードがご利用いただけます。
受付窓口でのお支払いはできませんのでご注意ください。
※施設費150,000円は入学後4月に引き落としとなります。

⬇

入学金納入後にマイページより「支払内容確認書」を印刷のうえ、受付窓口に下記期間に持参して、
入学書類を受け取り入学手続を完了してください。
2月2日（金）〜2月6日（火）までの9：00〜16：00

入学辞退：入学手続完了後、2月8日（木）16：00までに辞退された場合、入学金を振り込みにてお返しをします。
※辞退連絡の受付時間：2月2日（金）〜2月8日（木）までの9：00〜16：00

入学準備説明会：2月11日（日・祝日）午前中から本校で行います。

帰国子女入試

試験日	12月13日（水）	
募集人数	若干名（一般入試枠と別枠で実施）	
応募資格	海外に継続1年以上滞在し、帰国後3年以内の児童 ※児童の海外での在籍校については問いません。上記条件に若干満たない場合はご相談ください。	
試験科目	［国語・算数・面接］に加え、［英語］または［作文］のいずれかを選択 ※英語は英検準2級程度の出題・作文は自分の経験に基づく出題で、知識問題ではありません。	
集合時間	8：30	
試験時間	国語（50分／100点）	8：45 〜　9：35
	算数（50分／100点）	9：50 〜10：40
	英語（筆記40分・リスニング10分程度） または作文（50分／100点）	10：55 〜11：45
	面接（各10分〜15分／30点）　※保護者同伴	12：00〜　※時間は個別に連絡します。
出願手続 出願期間	12月1日（金）9：00 〜12月11日（月）23：59	
出願手続 出願方法	インターネット出願 ①入学志願票・受験票はA4（横）普通紙に印刷し、入学志願票に写真（縦4cm×横3cm）を貼付、 またはインターネット出願画面より写真アップロード機能を利用して写真を登録し試験当日にお持ちください。 ②海外の学校の在籍を証明する書類（在留証明書、通知簿写しなど）を試験当日にお持ちください。	
出願手続 受験料	20,000円 お支払いは、コンビニエンスストア・ペイジー対応金融機関ATM・クレジットカードがご利用いただけます。	
合格発表	12月13日（水）17：00〜12月14日（木）8：00 発表は、本校ホームページ（https：//www.kanagawa-kgs.ac.jp/）で行います。	

入学手続

入学金納入 ⬇ 受付窓口での手続 ⬇ 入学手続完了

入学金は本校ホームページの入学金納入画面に進み、納入期間内にお支払いください。
入学金　250,000円　　納入期間　2月2日（金）〜2月6日（火）16：00
入学金のお支払いは、コンビニエンスストア・ペイジー対応金融機関ATM・クレジットカードがご利用いただけます。
受付窓口でのお支払いはできませんのでご注意ください。
※施設費150,000円は入学後4月に引き落としとなります。

⬇

入学金納入後にマイページより「支払内容確認書」を印刷のうえ、受付窓口に下記期間に持参して、
入学書類を受け取り入学手続を完了してください。

2月2日（金）〜2月6日（火）までの9：00〜16：00

入学辞退：入学手続完了後、2月8日（木）16：00までに辞退された場合、入学金を振り込みにてお返しをします。
※辞退連絡の受付時間：2月2日（金）〜2月8日（木）までの9：00〜16：00

入学準備説明会：2月11日（日・祝日）午前中から本校で行います。

2023年度入試データ

2023年度入試　応募者数・受験者数・合格者数

日　程	A日程			B日程			C日程	
試験日	2月1日（水）			2月2日（木）			2月4日（土）	
	午前		午後					
科　目	2科	4科	2科	2科	3科	4科	2科	4科
募集人数	80名		30名	60名			20名	
応募者数	49名	115名	199名	73名	10名	178名	67名	142名
	164名			261名			209名	
倍　率	2.1		6.6	4.4			10.5	
受験者数	46名	109名	189名	47名	8名	103名	36名	52名
	155名			158名			88名	
合格者数	26名	79名	109名	22名	5名	76名	16名	33名
	105名			103名			49名	
実倍率	1.5		1.7	1.5			1.8	

2023年度入試　合格者得点

日　程		A日程				B日程			C日程		
試験日		2月1日（水）				2月2日（木）			2月4日（土）		
		午前		午後							
得　点		平均点	最高点	平均点	最高点	平均点	最高点		平均点	最高点	
国語（100）		66.2	90	72.0	91	60.1	85		51.4	81	
算数（100）		62.2	92	67.0	95	58.0	91		64.6	95	
英語（100）						72.6	88				
社会（60）		35.9	50			41.0	56		32.3	48	
理科（60）		34.9	50			38.5	50		40.7	57	
合格者平均		2科		2科		2科※1			2科		
		平均点	最高点	平均点	最高点	平均点	最高点	最低点	平均点	最高点	最低点
		128.4	162	138.9	171	120.3	162	100	116.0	163	100
		4科※2				4科※2			4科※2		
		平均点	最高点			平均点	最高点	最低点	平均点	最高点	最低点
		199.1	244			195.6	232	160	189.2	254	163
受験生平均	国語（100）	60.1		65.9		53.3			45.8		
	算数（100）	53.7		56.8		47.1			52.5		
	英語（100）					61.8					
	社会（60）	33.2				37.7			27.4		
	理科（60）	32.1				35.9			34.2		

※1：B日程2科目の「平均点」・「最高点」・「最低点」は、3科受験の上位2科目を含んでいます。　※2：4科目の「最低点」は、2科目での合格者を除く「4科目」での合格者での最低点です。

入試に関するご質問

インターネット出願のみですが、パソコン操作が苦手です。

例年、ご心配をお寄せいただくこともありますが、本校サイトの「出願の流れ」をご案内したり、秋の説明会で出願方法の説明などをさせていただいたりすることで、ご不安はかなり解消されるようです。また、プリンターをご利用になりたい場合には学校で用意しております。さらにご不明な点などは学校、あるいはシステムに関する専用回線でご説明しています。

午前入試の2科・4科選択制では、どのように合格判定を行っているのですか？

まず全受験生の国語・算数の2科目合計点で全体の約85%の合格者を決めます。その後、15%を、国語・算数では合格圏内に入らなかった4科受験生の、4科目合計点の上位者から合格とするという2段階の方法で選考しています。A日程（午後）は2科受験のみの方式ですので、2科合計点で合格者を決めます。B日程の3科型は、点数の良かった2科目の合計で合否を判定しています。

複数回出願のメリットはありますか？

各日程の合否判定は独立して行いますが、例えばA日程で「ボーダーより少し下」、B日程でも「少し下」という場合は、「合格者と同等の成果を上げている」と判断をし、合格としています。その幅は、ボーダーから5点が目安です。この措置は、午前・午後の4回の入試のうち、どの回に対しても適用しています。

入試に関するご質問

A日程（午後）の14:15の回と15:15の回は何が違うのですか？

違いはありません。問題も同じで、判定も一緒に行います。2回の回を設けているのは、受験生の方の便宜を考えてのことです。例えば午前にも本校を受験された方は、早い時間に行われる14：15の回をご利用いただき、他校受験などで午後の早い時間にご来校が難しい方は15：15の回をご利用いただければと考えます。

合格のボーダーラインはどのぐらいですか？

本校は従来、55～60%がボーダーラインの目安でした。ただ、このラインを目安に設定すると、年によってはこのラインを若干下回り、50%程度がボーダーラインになるときもあります。この場合、受験生の皆さんにとって、「できた」と実感しづらいと考え、24年度入試からはボーダーラインを少し上げ、60～70%程度が目安になる問題を作成することとします。詳しくは秋以降の説明会でご説明します。

帰国子女ですが、英語圏に滞在したわけではないのですが？

帰国子女入試は、グローバル化と多様性が叫ばれる現代において、学年全体に帰国子女の方の海外経験を刺激と視野の広がりとして波及させる意図を持って実施しています。英語圏の方のみ募集しているわけではないのはそのような理由からです。英語の試験は英検で準2級程度を目安にしてください。作文は、個々の経験に基づくテーマで出題します。